

2024年10月4日

新鋼商事有限会社の株式取得に関するお知らせ

当社は、2024年9月30日をもって、新鋼商事有限会社(以下、新鋼商事)の全株式を取得しましたので、下記のとおりお知らせ致します。

1. 株式取得の背景

日本鉄鋼連盟は、我が国の「2050年カーボンニュートラル実現」の方針に合わせて、短期的な目標として、2030年度にはエネルギー起源CO2排出量を2013年度比30%削減の目標を掲げています。

2050年に向けては、水素還元高炉やCCS/CCUS等の活用をめざし、各社で複線的な開発が行われているものの、短期の2030年には新プロセスの開発・実装は間に合わないと考えられています。

そのような中、高炉メーカー各社も鉄スクラップの積極活用や高炉の電炉化を計画しており、国内の鉄スクラップ需要が増加に転じる可能性があることに加え、特に上級スクラップの需給がひっ迫することが想定されています。

2. 株式取得の目的

船舶には出所がはっきりした高品質な鋼材が大量に使用されているため、その船舶を解体することで、多くの良質な鉄スクラップ(上級スクラップ)を確保することができます。

新鋼商事は、熊本県八代市において1948年の創業以来76年間、船舶解体業を手掛けており、現在は一般の貨物船だけでなく官公庁船の船舶解体を手掛けるなど、技術力・信頼性も高いものを持っております。

当社としては、2012年に宮地サルベージ(香川県多度津)を子会社化したことで、既に船舶解体事業(解撤)に進出しておりますが、船舶解体の事業拡大を図り、上級スクラップの国内循環を促進することが、国内鉄鋼業界のカーボンニュートラル実現に大きく貢献できるものと考え、この度の株式取得に至りました。

3. 株式取得による期待効果

①船舶解体における更なる技術の強化

新鋼商事は700トンクレーン起重機船や国内最大級の95トン切断機を装着する120トンショベルなど、船舶解体に必要な設備や重機を保有し、解体実績も一般の貨物船だけでなく官公庁船の解体を多く手掛けるなど、信頼も高く、船舶解体において多くの技術を保持しています。

②グループ会社間連携等によるシナジー効果

当社の呉工場やグループ会社である宮地サルベージとの連携により、大きなシナジー効果が期待できます。

③国内船舶解体事業の更なる拡大

隣接地にはハンディーサイズの船舶解体が可能となる全長180mの係留岸壁を確保していることから、国内鉄鋼メーカーのニーズを把握しながら設備投資を行うことで、より大きな船舶の解体を行っていくことも可能であると考えております。

シマブングループでは、これまで以上にグループの総合力を発揮し、製鋼原料である鉄スクラップの集荷・販売を強化、国内循環の促進を図ることで、国内鉄鋼業界のカーボンニュートラル実現に貢献してまいります。

4. 株式取得に関連する会社の概要

名 称	新鋼商事有限会社	株式会社シマブンコーポレーション
所 在 地	熊本県八代市港町277番地	兵庫県神戸市灘区岩屋中町4丁目2番7号
代 表 者	早田勇二	木谷謙介
事 業 内 容	1.船舶解体 2.鉄及び非鉄金属にリサイクル 3.船体のパーツ類、中古船のリユース	1.鉄リサイクル事業 2.鋼材事業 3.生産事業 4.エンジニアリング事業 他
資 本 金	14,000千円	65,500千円
設 立 年 月 日	1991年1月25日(創業:1948年)	1949年8月9日(創業:1909年)

〈 本件に関するお問い合わせ先 〉

株式会社シマブンコーポレーション 総務部 秘書広報室 有光 (078-802-9517)

以 上